

小見川地区 グループB の意見概要

自然環境について

- 市内にはオオセッカ、チュウヒなどの絶滅危惧種が生息している。種の絶滅を防ぐための取り組みが重要である。
- 香取市は自然環境が豊かで、生物種も多様であるが、その豊かさに市民は気づいていない。
- 生態系ピラミッドが崩れつつあると感じている。
- 動植物の保全を図るために、継続的な生物調査が必要である。
- ホテルの観察会などの活動を継続していきたい。

黒部川の浄化、水循環について

- 黒部川の水質をきれいにしたい。
- 黒部川は、黒部川水門でせき止められた貯水池であり、塩害防止や治水目的にも利用されている。これまでも浄化の取り組みを行ってきた結果、以前に比べて水質は改善されている。
- 市内の河川や水路の水質を改善、維持していくためには、薬品交じりの生活排水を流さないように配慮することも重要である。
- 炭を使った水質浄化を行うことはできないか。
- 河川浄化に向けては、国、県、市の行政機関の連携を高めてほしい。
- 水供給の安定を図る上でも、水質浄化、地下水保全などの取り組みが必要である。

ごみ減量について

- ごみの分別を徹底するように周知が必要である。
- ごみの分別方法について、具体的にどうやればいいのか、市からの情報発信があると良い。
- 分別方法を具体的に説明する機会や場があると良い。
- 分別を徹底すれば、焼却炉への負担も減り、結果的には修繕費用も減らすことができる。
- 収集後のごみ処理の状況が不明である。どのような過程を経ているのか見える化が必要である。
- 地区単位でのごみ処理量などが分かると、ごみ減量や分別の意識も高まるのではないか。
- 生ごみのコンポスト化を進めることも、ごみ減量には有効な取り組みである。

その他

- 市の環境の現状をまとめた資料として、環境対策報告書を発行しているとのことだが、市民には伝わっていない。
- 市内には街路樹がもっとあっても良い。
- 未来の環境づくりのためには、子どもたちに市の環境の良い点、悪い点を教えていくことが重要である。
- 災害発生時の適応として、住民同士での助け合いも重要である。